

# 「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」 管理職養成学校ニュース



2021年9月29日発行 (No.2) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net



## 第一回講座を開催



## 事前動画を視聴からのスタート！

動画の講師は、第1講座の講師である黒田孝彦氏です。黒田氏から、陸上競技のフィールドに入った受講生に「何メートル走るつもりなのか、どのような準備をしてスタートラインにつくのか？」との問いかけから始まりました。そして受動的な学びではなく、能動的な学びをすることに意義がある、復習と予習、日々の記録を基本にすることも話されました。

プレゼンテーションの準備に関しては、何が問われ、何が自分の課題かを復習してテーマの調査やねらいを見据えて発表していくこと、日々の習慣を変えて、目の前の課題に向き合いチャレンジしていくことが、第1講座でスタートラインに着くということだと話されました。

受講生はこの動画を何度か見て、参考文献を読み、プレゼンテーションの準備をして9月21日当日を迎えました。



第1講座であることの緊張を和らげるため講座開始時には、事務局が「発声」することで緊張を緩和しようと、開始前の準備運動をしました。指名されたら自分の地域の天気や好きな食べ物を答えます。好きな食べ物ではカレーを3杯食べる、4杯食べるといった場を和ます答えも出るなど、開始前の緊張がほぐれた中で、第1講座が始まりました。



管理職養成学校の基軸に毎講座でのプレゼンを位置付けています。今回が初めてのプレゼンです！

最初は、「管理職としての私を語る」というテーマでプレゼンテーションです。今までの養成学校では、ここで「くじ引き」をして順番を決めていたのですが、今回はオンラインということで残念ながら事務局で事前に決めての順番です。1人5分間の限られた時間の中で、どう伝えるのか、ゼミ別のLINEグループや自主ゼミでは「どのようにプレゼンをしようか」と試行錯誤し意見交換をしてきた中でのプレゼンです。

用意の甲斐あって、自分の強みや弱み、どういう管理職を目指すのかをわかりやすく聞き手を意識しながらのプレゼンテーションをした受講生が多かったように思われました。

お昼からは、黒田孝彦氏の講座です。

「社会福祉法人における管理労働と管理」と題して、社会福祉基礎構造改革の中で、社会福祉法人のあり方が問題提起されたこと、民主的な運営をするために、職員や私たち管理者が何を求められているのか。「民主的」な経営は、職員や当事者、事業をささえる地域の方々が、運営に主体性を発揮しているのかどうか。



講師：黒田孝彦氏

「後援会活動」などは、労務管理などの観点や、職員への説明が不足し、労働なのか、運動なのかという議論になりがちですが、管理労働の一つとして後援会なども位置付けなければならないと、話されました。

また、管理労働における「社会福祉実践」「労務」「教育」「社保」「共同組織」を項目別に詳しく説明、「管理原則の父」と呼ばれるファヨールが言う管理原則についても触れ、管理原則は管理機能を増大させるための一定の原則に過ぎないと指摘し、多くの可変的な要素を考慮しなければならないと話されました。

講義の中では「職員に仕事をさせていただく」ということが何度か出てきました。それが管理職としての仕事であるということです。そのためには「職員が自分で考えることができる力」をつけるための教育も必要です。

最後には第2講座や他の講座にもつながる「社会福祉法人改革」についても話され、制度政策、福祉実践も含めた運動の課題を総合的に俯瞰してみていくことが、今後の事業計画、事業予算ともつながると締めくくられました。



黒田氏の講義のあとは、ゼミ別にわかれて「午前のプレゼンについて」「講義を聞いた上で管理職とは何をすべきなのか」と2つの論議をしました。

1か月間プレゼンテーションへの課題に向き合ったこと、本日の講義を聞いたことをすぐにアウトプットすることで論議も活発になりました。

1日の長い講座でありましたが、まだまだ半年の航海に出たところです。次の第2回講座への課題説明も聞き、復習予習をやっていこう、と締めくくり講座を終えました。



ゼミ「ポラリス」  
ブレイクアウトルームにて

オンラインでの講座では、事務局側の音声が聞こえづらいなど少し次回への課題も残りました。よりよい環境で学びができるよう、さらに創意工夫していこうと思います。

送り出し法人の皆様は引き続き「航海」へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 第2講座 10月28日（木）

「社会福祉法人の在り方を学ぶ」 講師：浜岡政好先生（養成学校校長：佛教大学名誉教授）  
プレゼンテーマ「我が法人の経営理念と社会福祉法人が地域で果たす役割について」  
受講生が法人の代表として地域住民（聞き手の想定）に語ります。

